御用聞き

婆ーちゃるショップ高島家による御用聞き商品配達

~ 離島"高島"の住民の生活支援のあり方 ~

1 概 要

婆ーちゃるショップ高島家とは、NPO法人かさおか島づくり高島支社(以下「島づくり海社」という。)が運営する、「御用聞き商品配達」のサービスを行うバーチャル店舗。(開始時期:平成22年2月)

2 背景ときっかけ

平成20年10月頃、高島(離島)の最後の小売店が閉店。それにより笠岡まで船で買い物に行く必要があり、不便であった。そこで島づくり海社高島支社が地元商店街に連携を呼びかけ、御用聞き商品配達サービスが実現。

3 取組の内容

1. 御用聞きの対象地域及び取り扱う商品の内容等について

対 象 地 域:岡山県笠岡市高島(笠岡諸島7島のひとつ)

販 売 商 品:ニュー大仙通り商店街(23店舗)に発注

生鮮品、牛乳、パン、豆腐など食品や日用品が特に希望が多い

特に商店街にない商品でも取り寄せが可能

販売頻度:月3回(住民の注文を取りまとめて発注)

(定期市10日、20日、30日)

【御用聞きの仕組み】

島づくり海社の担当スタッフが、離島である高島の各地区ごとに巡回し、住民の注文をとりまとめ、月3回、笠岡駅前の商店街に発注。商店街は、加盟店に注文を伝え商品を集め、商品を船で島まで運び、港の広場で販売する取組である。

(代金の5%を配送費として上乗せしている)

2.事業の展開等について

笠岡駅前のニュー大仙通り商店街と連携することで、商店街活性化・地域活性化にもつながる取組に。

3.行政との関係について

(行政による支援はない) 独自事業として開始。

4 取組の効果

笠岡駅前の大仙通り商店街と連携することで、商店街活性化・地域活性化につながる取組に。 これまでの船賃で買物ができるというお得感をお客さんに与えることに成功。

5 取組上の工夫

笠岡諸島それぞれにある島づくり海社(本社は北木島)の支社を置き、各支社が島づくりの事業を計画。 事業が決定されると島づくり海社本社が事業費を支給する。

原則、支社は支給を受けた事業費の3割を5年間で海社本社に返済する仕組みとなっており、収益事業を 行い自立していく動機付けとなっている。

(本事業については、本社からの事業費の立ち上げ経費の一部は支給されているが、これについては返済はしないものとなっている。高島支社の独立事業。)

6 今後の展望

今の島にとって、広い範囲での事業をして、とりあえずサービスがある状態に持っていくことが 大切と考えている。

この取組を維持していくためには、みんなで支える体制づくり(島に住む人と人との交流、

協力)が重要。島に住む人たちとの日常的なかかわりを維持していくこと大切であると考える。

7 参 考

笠岡市高島の概要(H17現在)

人 口:1 2 9 人 世 帯 数:6 4 世 帯

面 積:2 k m² 高 齢 化 率:56.6%

御用聞きの仕組み

ニュー大仙通り商店街:23店舗 (本州・JR笠岡駅前)

(本州・JR笠岡駅前)
加盟店舗から商品を 住民の注文をとりまとめ

集める **2** て発注(月3回) **2** で発注(月3回)

婆-ちゃるショップ「高島家 」 (無店舗)

配送·集金 (代金の5%を配送費 4 として上乗せ)

担当スタッフが各地区ごと に巡回して注文とり

人口120人 高齢化率52% 平成20年10月 頃:島の店が廃

【問い合わせ先】 NPO法人かさおか島づくり海社

高島

住所: 岡山県笠岡市北木島町3802-53 電話: 0865-68-3741

